

① お稲荷様

火鎮神社の拝殿から、参道を東へ 40mほど行くと小さな境内があります。朱色の鳥居をくぐり、石段を登るとお社があり、お稲荷様が祭られています。大漁祈願のために三浦半島の葉山のお社まで御神体を受けに行き、お祭りするようになったと言い伝えられています。

④ 坂下のおらんとう様

墓地のことを卵塔場といふところから「おらんとう様」という名がつけられています。

墓碑は 15 基あり、最も古い墓碑には万治 3 年(1660)、ほかに寛文や元禄の年代が見えます。

⑦ 潮見坂

潮見坂は、街道一の景勝地として数々の紀行文などにその風景が記されています。西国から江戸への道程では、初めて太平洋や富士山の見える場所として、旅人の詩情をくすぐった地です。広重も、この絶景には関心を抱いたようで、遠州灘を背景に、その一帯の風景を忠実に描いています。

⑩ 潮見坂上の石碑群

明治天皇御遺蹟地記念碑をはじめ、夏目甕磨、加納諸平、藤屋五平、義僕平八郎の顕彰碑や元白須賀町長の山本庄次郎、医師で地域の文化振興に尽くした石川榮五郎の碑、そして忠魂碑があります。

⑬ 火防樹

旧道の両側に生い茂る大きな楓の木が目に入ります。これは、火防樹と呼ばれ、火事の延焼を食い止めるために植えられたものです。白須賀宿の民家は軒が連なり、延焼しやすい町並みでした。

静岡県内で残っているのはここだけです。

② 一里塚跡

一里塚は、徳川家康が最初に手掛けた東海道の整備事業の一つ。江戸日本橋から一里（約 4 km）ごとに京都の三条大橋までつくられた。

この辺りでは、一里塚のことを一里山と呼んでおり、石碑にも「一里山旧址」と彫られています。

⑤ うないの松

潮見坂の中ほどに藏法寺へつながる小道を 50mほど行った所に「うないの松」といわれた大松の切り株と、この松を詠んだ久内和光の歌碑があります。

「うない」とはうなじのこと、松があった位置が潮見坂の首にあたるところから付けられました。

⑧ おんやど白須賀

白須賀宿の歴史文化に関する知識を広めるとともに、散策する人々の交流休憩地として、新たな文化、交流の発信拠点として活用されています。

展示には、宝永 4 年 (1707) の津波の記録、白須賀宿の文化人、和紙人形の潮見坂風景、白須賀宿の昔語り等があります。

⑪ 十王堂

宿場所替えの宝永 5 年 (1708) に他の諸寺とともに元宿から移転したと伝えられています。お堂には、この地方に珍しく鐘楼・梵鐘もあって、旧盆の期間を通じて、鐘の音が白須賀の街に響きわたります。無住となって数十年がたちます。

⑭ 道の駅 潮見坂

展望デッキからの眺めは素晴らしい、遠州灘のパノラマは地球の丸さも実感できます。また、太陽熱を利用した足湯は、どなたでも無料でお気軽にご利用できます。その他にも、近隣でとれた旬の農産物やその日の朝収穫した新鮮野菜、地元の特産品を取り揃えた売店も自慢です。

味と情報と癒しの空間を、お楽しみください。

③ 潮見観音像

山上から遠州灘の大波を見るということからこの名で呼ばれています。

また、海上安全を願う漁民の習わしとして、遠州灘を行き交う船は、必ず帆を下げ観音様の名前を念じて通り過ぎることとされていたので、またの名を「帆下げ観音」とも呼ばれていました。

⑥ 燈燈山

昔、廻船のための灯台があったことから、この名で呼ばれています。昔は、頂上から遠州灘が一望できる眺望絶景の地であったようです。

また、曳馬城の外城である白須賀城がここにあったと言われています。

⑨ 潮見坂公園跡

明治天皇が江戸へ行幸する途中に休まれた潮見坂上は、かつて織田信長が武田勝頼を滅ぼして尾張に帰る時、徳川家康が茶亭を新築して、信長をもてなした所でもあります。

大正 13 年 (1924) 4 月、町民の勤労奉仕により公園がつくられました。

現在は、公園敷地跡に中学校が建てられています。

⑫ 本陣・脇本陣跡

白須賀宿には、本陣が 1 軒、脇本陣が 1 軒ありました。本陣は、大名や身分の高い人が、脇本陣は、大名家来などが宿泊した施設です。白須賀宿の本陣職は大村左衛門で、本陣の規模も建坪 183 坪、畠敷 231 畠、板敷 51 畠と大きいものでした。

白須賀宿歴史拠点施設 おんやど白須賀

〒431-0451 湖西市白須賀 900 番地

☎ 053-579-1777

●開館時間 午前 10 時～午後 4 時

●休館日 每週月曜日 (ただし、月曜日が祝日または振替休日の場合は翌日)
12 月 29 日～1 月 3 日

●入館料 無料 (ゴミの持ち帰り、館内禁煙)